

市町村名	名護市
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	二見以北交流拠点施設機能強化事業 (わんさか大浦パーク機能強化整備事業)		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	地域経済部	観光課	事業実施 年度	令和1 ~ 令和3年度 沖縄振興基本方針 該当箇所

事業内容 「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」は2011年に供用を開始し、名護市二見以北の観光拠点施設として、親しまれてきた。また今後は沖縄県北部やんばるの世界自然遺産登録に伴い、利用者のニーズに対する既存施設の機能に不十分な部分が発生している。わんさか大浦パーク施設の機能強化を図ることにより、北部地域を訪れる観光客の受入体制を強化し、満足度、観光地としての魅力向上につなげることで、沖縄県のリーディング産業となっている観光産業の振興に資する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計
A. 予算現額	6,996	9,840	56,737		73,573
B. 執行済額	6,886	9,840	30,899		47,625
うち 交付金充当額	5,508	7,872	24,718		38,098
執行率(%) (B/A)	98.4%	100.0%	54.5%		64.7%
執行状況の説明	令和3年度に実施設計を予定していたが、地元地域団体より一部、整備計画の見直し要望があり、建物配置及び細部の調整等、設計の見直しに不測の日数を要したことから、年度内の完了が困難となり令和4年度に繰越して実施した。また、委託契約の入札残等により執行率が54.5%となっているが、業務内容については、予定通り完了できた。				

活動目標(指標)	達成状況					
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
実施設計の実施	目標	基本計画策定	基本設計実施	実施設計実施	-	-
	実績	基本計画策定完了	基本設計完了	実施設計完了	-	-
	目標					
	実績					

成果目標(指標)	進捗状況					
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
実施設計の実施	目標	基本計画策定	基本設計実施	実施設計実施	-	-
	実績	基本計画策定完了	基本設計完了	実施設計完了	-	-
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R6年度 目標/発現年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
わんさか大浦パーク年間利用者数	目標	—			129,583
	実績	10,313			104,008
	目標				
	実績				

事業完了後の成果目標

状況説明

【R5年度】
・施設整備(機能強化の工事等)に伴い、施設の利用を制限したため利用者数は大きく減少している。

【R6年度】
・入場者数は104,008人となり昨年度の実績を大きく上回ったが、目標値は下回った。
・既存建物の機能強化の工事及び大型遊具の設置等により、今後利用者数の増加が見込まれる。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R5年度】 ・施設整備(機能強化の工事等)に伴い、施設の利用を制限したため利用者数は大きく減少している。</p> <p>【R6年度】 ・既存建物の機能強化の工事及び大型遊具の設置等により、今後利用者数の増加が見込まれる。</p>	<p>【令和5年度】 利用できる施設の積極的な活用方法を検討する。</p> <p>【令和6年度】 令和元年度に策定した「わんさか大浦パーク機能強化基本計画」に基づき、地域住民や関係機関と連携を図りながら集客性の向上に努める。</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R7年度】
・わんさか大浦パーク内の機能強化や大型遊具の整備が完了したことから、観光パンフレットやHP等の活用などによる情報発信に努め、集客性の向上に繋げていく。

市町村名	名護市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備				
担当部課名	地域経済部 観光課	事業実施年度 平成30 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(1)				
事業内容	外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	合計	
	A. 予算現額	2,200	71,170			73,370	
	B. 執行済額	2,149	71,170			73,319	
	うち 交付金充当額	1,719	56,936			58,655	
	執行率(%) (B/A)	97.7%	100.0%			99.9%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施は令和2年度までとなっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人を含むインバウンド観光客の入込が見込めない状況の中、当該事業を執行することは困難と判断し中止の判断に至った。 ・最終的な執行率は、99.9%となり、計画的に事業を執行できた。 						
事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			平成30年度	令和1年度	○年度	○年度	○年度
	中心市街地エリアのWi-Fi整備	目標	整備計画の策定	中心市街地エリアのWi-Fi整備			
		実績	整備計画策定完了	中心市街地エリアのWi-Fi整備			
	効果測定	目標	—	効果測定の実施			
		実績	—	効果測定の実施完了			
	目標						
	実績						
事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			平成30年度	令和1年度	○年度	○年度	○年度
	Wi-Fi整備(中心市街地エリア)完了	目標	—	Wi-Fi整備の完了			
		実績	—	Wi-Fi整備の完了			
	効果測定の完了	目標	—	効果測定の実施完了			
		実績	—	効果測定の実施完了			
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 目標/発現年度	令和7年度 目標/発現年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
	実績	未実施	未実施	未実施	90.6%
外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことによる、利便性(80%以上)」	目標				
	実績				

事業完了後の成果目標

状況説明

【令和3年度～令和5年度】
 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人を含む観光客が減少しているため、アンケート調査ができる状況になかったことから、事業検証ができなかった。

【令和6年度】
 ・外国人を含む観光客等を対象に、Wi-Fiが整備されたことによる利便性等についてアンケート調査を実施し、当該フリーWi-Fi利用の利便性について、90.6%という回答をいただいた。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【令和3年度～令和5年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人を含む観光客が減少しているため、事業検証ができる状況になかった。</p> <p>【令和6年度】 ・当該フリーWi-Fiの利用状況について、利用件数(月及び年間)から、観光客や市民が利用している状況にある。当該アンケート調査結果からも、「フリーWi-Fiの必要性」について79.6%と回答をいただいている。</p>	<p>【令和3年度～令和5年度】 ・新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、外国人を含む観光客を対象にアンケート調査が実施できるよう整え、本事業の効果検証を行う。</p> <p>【令和6年度】 ・当該アンケート調査結果からも、「フリーWi-Fiの必要性」について79.6%と回答をいただいております。引き続き、外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、フリーWi-Fiについて検討する必要があると考えている。</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【令和4年度～令和6年度】
 ・新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、外国人を含む観光客を対象にアンケート調査が実施できるよう整え、本事業の効果検証の結果を踏まえ検討する。

【令和7年度以降】
 ・外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、関係各所と協議しフリーWi-Fiの在り方について検討する必要があると考えている。

市町村名	名護市
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	防災対策基盤強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ 安全・安心に暮らせる地域づくり
担当部課名	消防本部	警防課	事業実施 年度	令和 3 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所

事業内容

島嶼県である沖縄においては、大規模災害に対応した他県からの応援が迅速に受けられないことを踏まえ、本島最長のトンネル区間を有する名護東道路の開通に対応した市内の消防防災機能の強化を図る。

実施方法

直接実施 委託 補助 負担 その他()

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
A. 予算現額	89,980				89,980
B. 執行済額	89,980				89,980
うち 交付金充当額	71,984				71,984
執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%
執行状況の説明	(繰越)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により車両製作に必要な部品の納期遅延が発生し、年度内の事業完了が困難となった。 (事故繰越)大型水槽車作成には消防専用シャーシを必要とするが、消防専用シャーシメーカーによる不正行為によって認可取消、出荷停止処分が下されていることから、消防専用シャーシ確保に時間を要し年度内の事業完了が困難となった。				

事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度
大型水槽車の購入	目標	1台購入				
	実績	1台購入				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R3年度	○年度	○年度	○年度	○年度
名護市消防署へ大型水槽車1台の配備完了	目標	1台				
	実績	1台				
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R6年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	大型水槽車を活用した消防訓練を実施	目標	12回以上			
		実績	40回			
		目標				
		実績				

【R6年度】
・大型水槽車を活用した訓練を40回実施。また、大型水槽車の出動した火災等の件数は41回となっている。

状況説明

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R6年度】
・消火効率向上、放水量増加、放水距離延長を目的とした各種資機材を装備した大型水槽車を配備したことにより、トンネル内で発生した車両火災等に対し、隊員の安全を確保した上で迅速に消火活動が展開できる体制となった

【R6年度】
・消防本部内の訓練や各関係機関が行う合同訓練に大型水槽車を活用し、隊員の習熟度の向上を図り災害発生時における迅速な対応と関係機関相互の連携体制の向上に努める。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R7年度】
・消防本部内での訓練及び各関係機関との合同訓練を定期的実施し、車両特性や積載資機材の取扱いを熟知することで、トンネル内で発生した車両火災はもとより、各種火災に対する火災対応力向上を図る。